

学習課題(中学校1年生)



【理科】

＜学習内容＞「質量パーセント濃度」

○水溶液の濃さを質量パーセント濃度で表してみよう。

＜取り組み方＞

- (1) 溶質、溶媒、溶液の言葉の意味を図や言葉を使ってまとめてみよう。
- (2) 質量パーセント濃度を求める式を確認してみよう。
- (3) 次の例題に取り組んでみよう。

【例1】水 80g に塩化ナトリウム 20g がとけている。この塩化ナトリウム水溶液の質量パーセント濃度はいくらか。

【例2】10%の塩化ナトリウム水溶液 100g には、何 g の塩化ナトリウムがとけているか。

【例3】5%の塩化ナトリウム水溶液 200g をつくるには、何 g の水に何 g の塩化ナトリウムをとかせばいいか。

＜学習のヒント＞

- (1) 教科書 P169～170 を参考に、砂糖水や塩化ナトリウム水溶液など、具体的な例も示しながらまとめてみましょう。
- (2) 質量パーセント濃度を求める式を変形すると、溶質の質量を求める式ができます。教科書 P280 を参考にしてみましょう。
- (3) 問題文の中に、質量パーセント濃度や溶質の質量、溶液の質量の情報があれば、線などを引いて、求める式に値を入れていきましょう。